

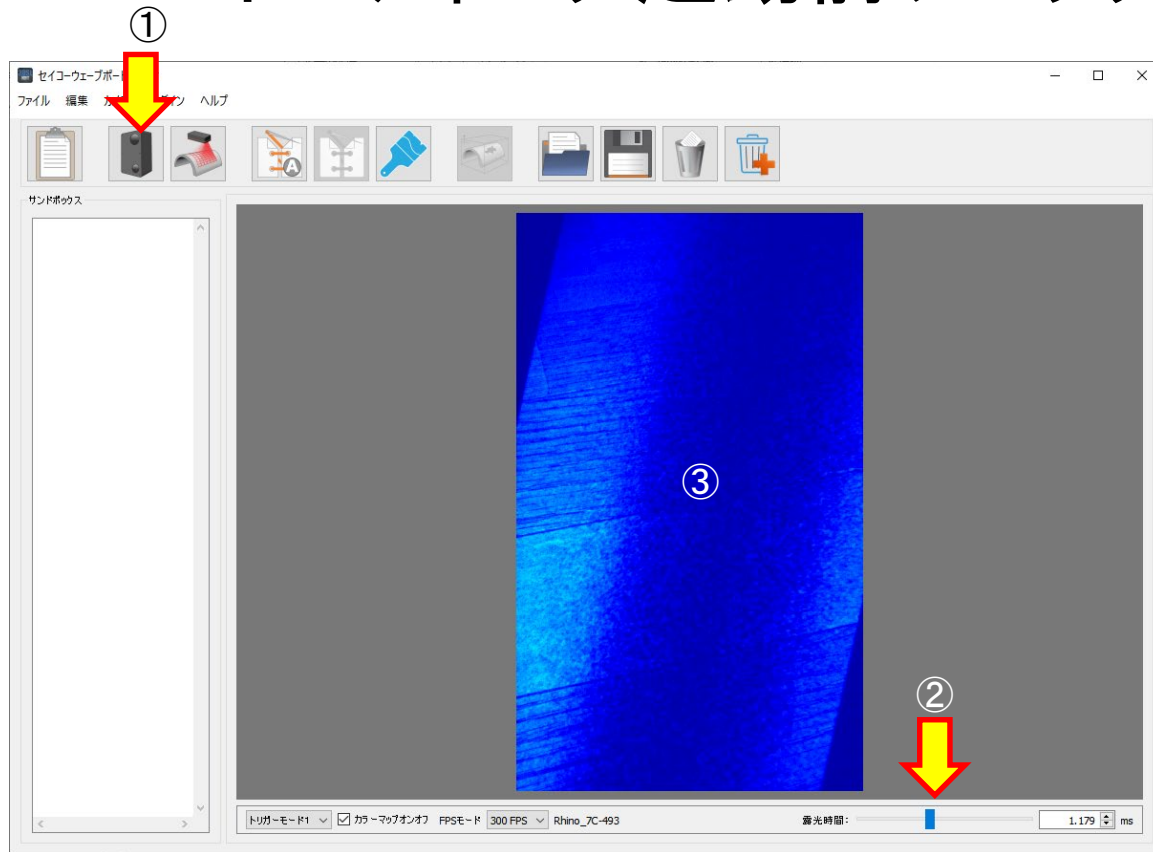
AP34 - Rhino Painting

作業手順のヒントとデータの追加

(株)セイコーウェーブ

2021.04.23

1. ペインティング起動前チェック

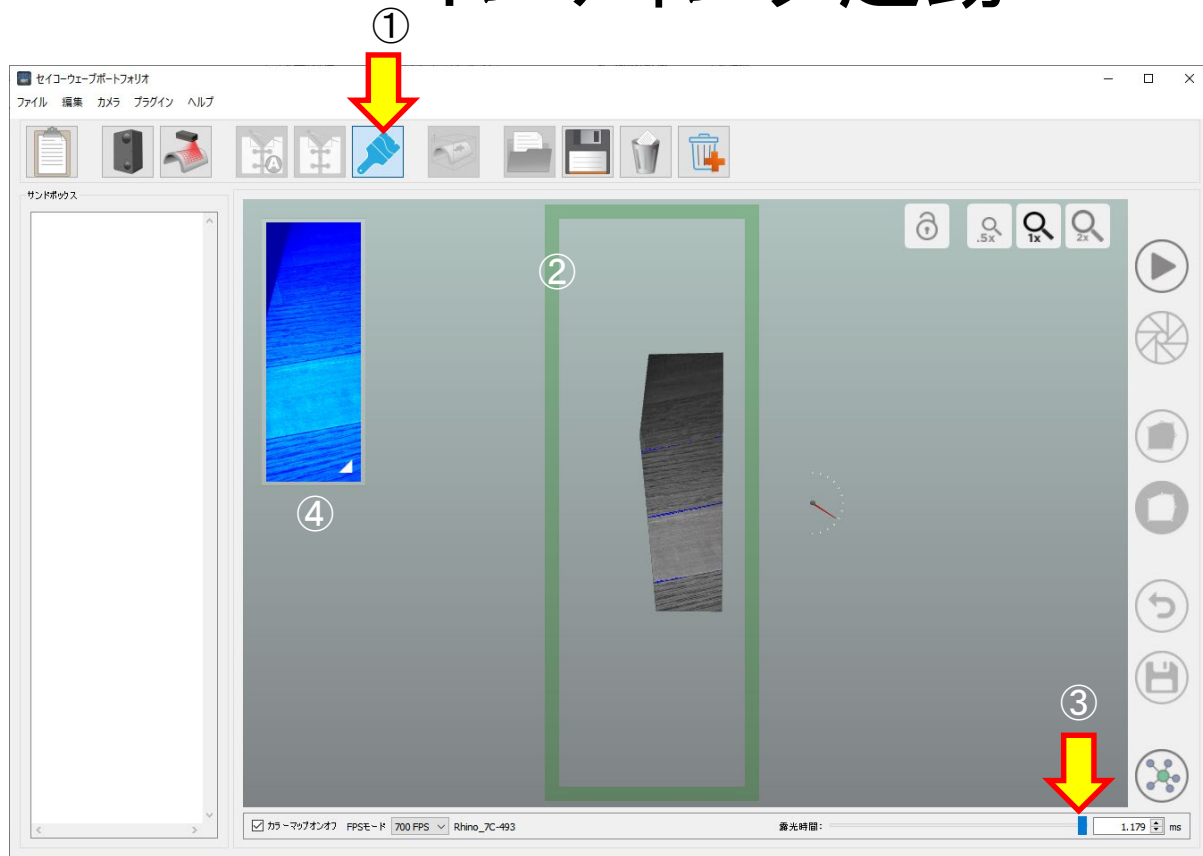


①をクリック。

対象物が、画面の中央に入っていることを確認する。

②の「露光時間」を調整し、中央画面③の色味が青～黄色になるようにする。

2. ペインティング起動



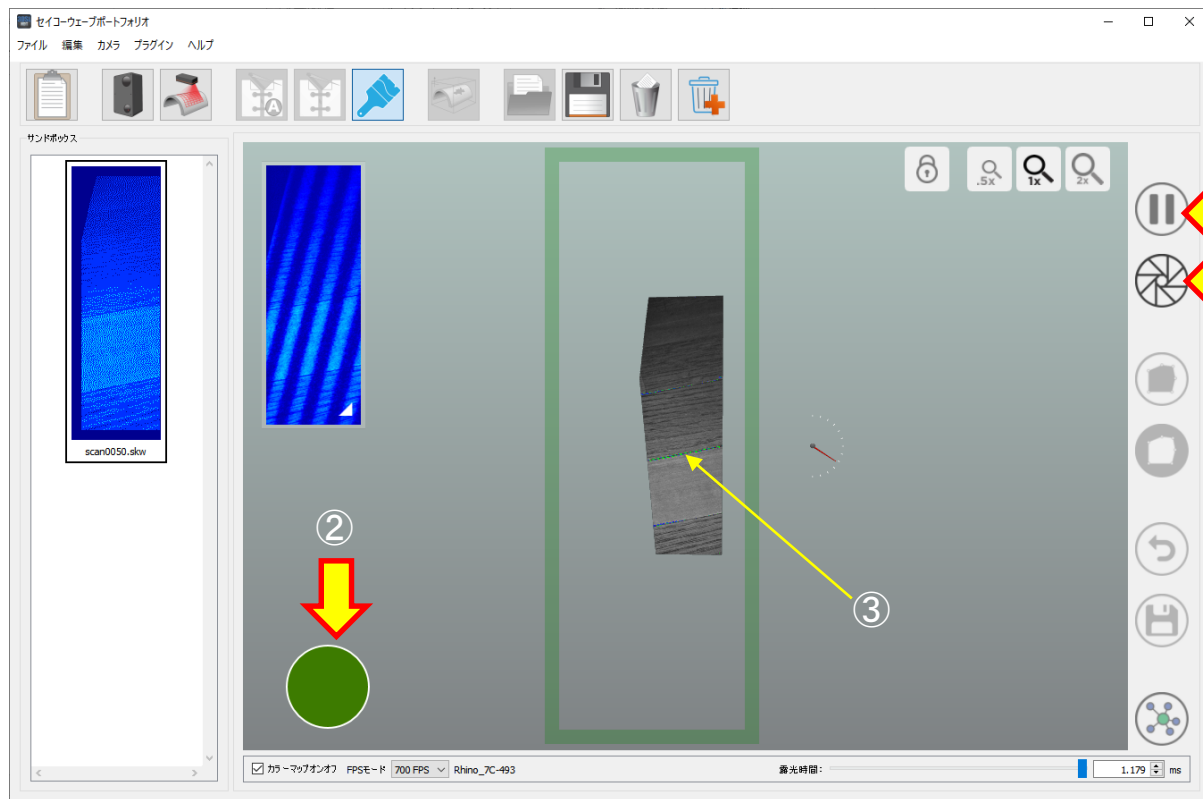
①をクリック。

(1)対象物が、画面中央のボックス②に入っていることを確認する。

(2)②の枠の色が緑になるように、対物距離を調整する。

(3)③の「露光時間」を調整し、左上2Dライブ画面④の色味が青～黄色になるようにする。

3. ペインティング作業開始

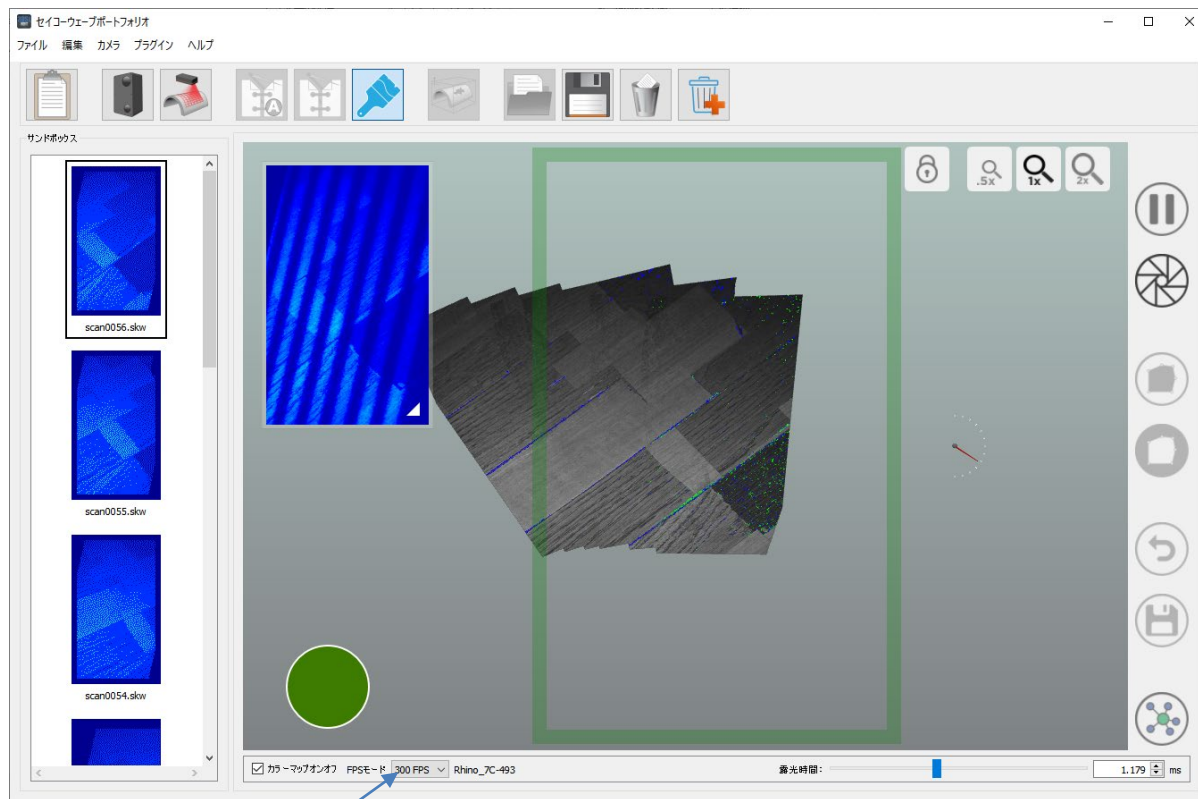


①をクリックして作業開始。動作中はこのマークに変化する。

②のマークが緑であることを確認し、スキャナのトリガーボタン、ないし、④をクリックし、画像を取得する。

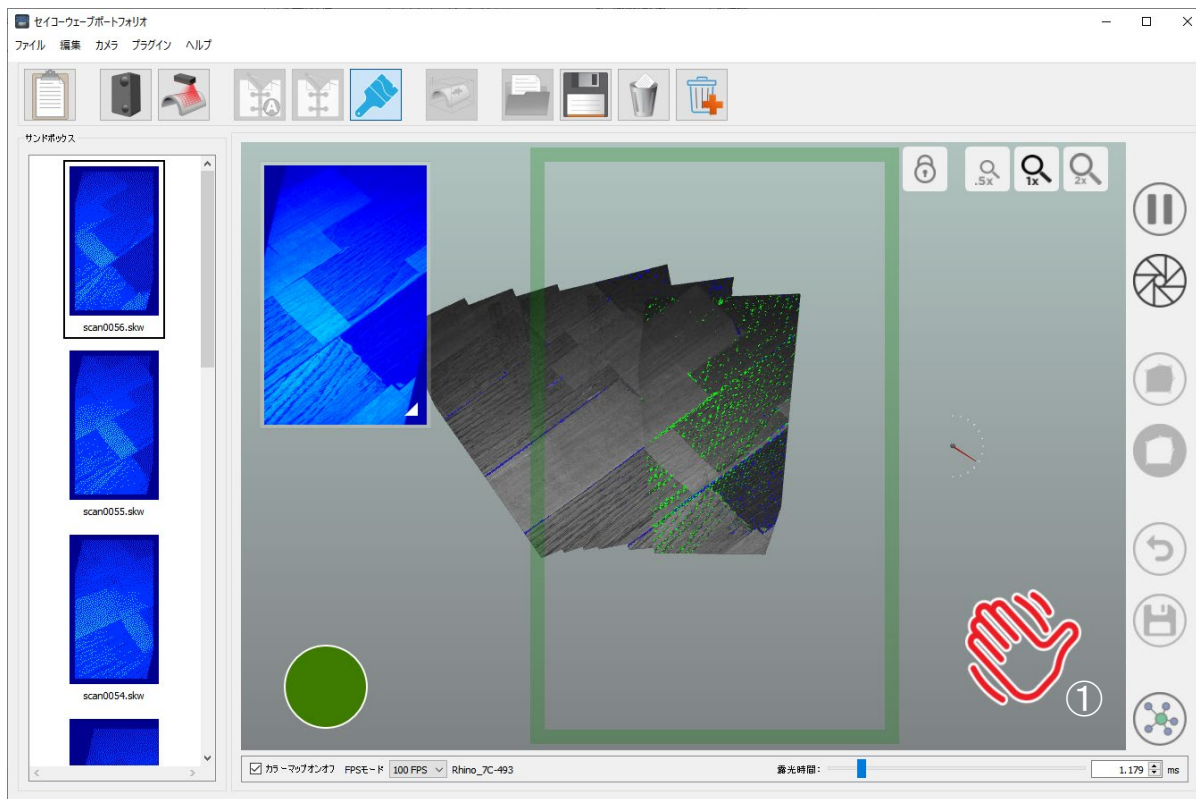
③の緑色の線は、ソフトウェアが重ね合わせの際の特徴として認識している部位を示す。

4. ペインティング作業続行



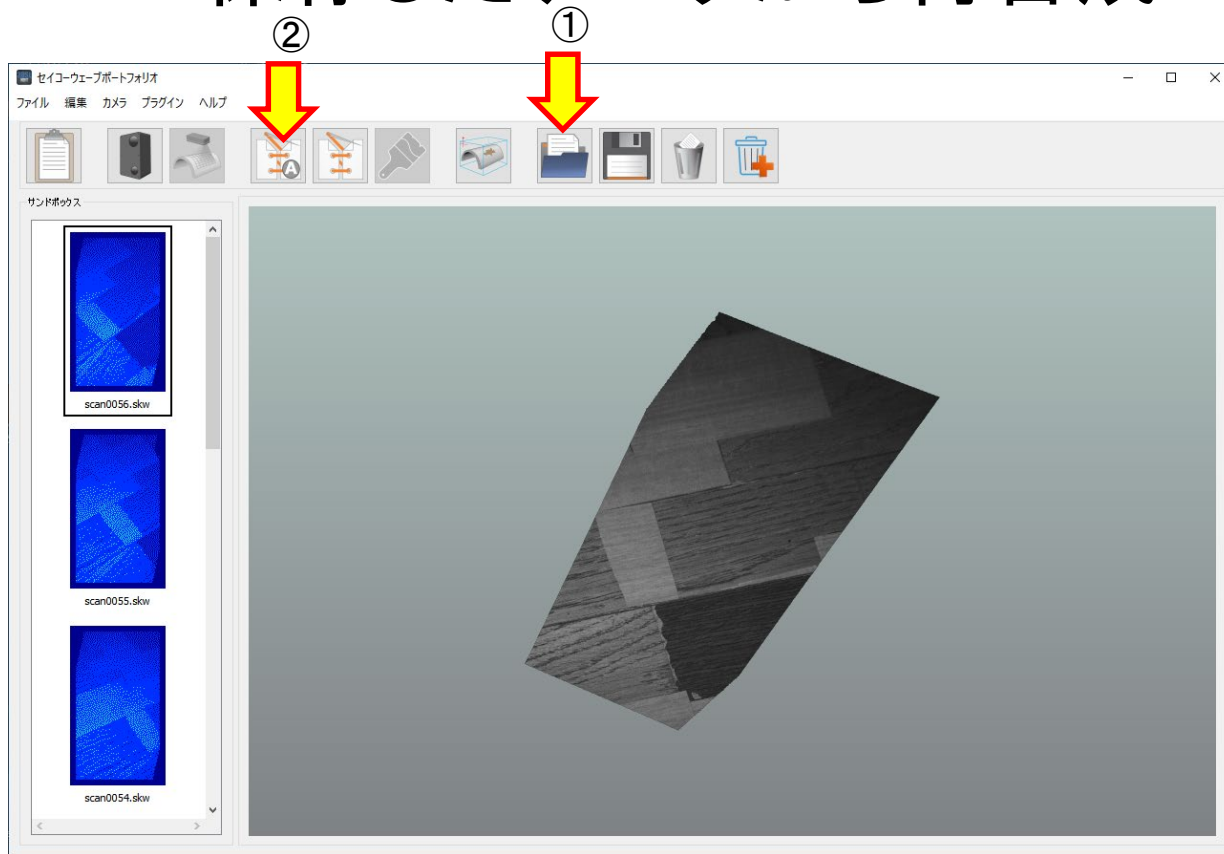
スキャナ保持が安定して、手振れが無い場合は、①のメニューから、400fps, 100fps を選び、より広い範囲をスキャンすることができる。但し、手振れにはより敏感になるので注意。

5. 手振れがある場合



手振れがある場合、①の図形が表示される。この表示が消えるようにスキャナ保持を安定させること。

6. 保存したデータから再合成



①をクリックし、保存フォルダーから、1回のペインティングによって保存された一連のファイルを読み出す。

注意; ペインティング起動時刻が異なる他のファイルは、これから説明する手順では合成できない。

②をクリックし、合成作業画面を起動する。

一旦、MT-Eagle が発見できません、というエラーメッセージが出るが、無視して先に進む。

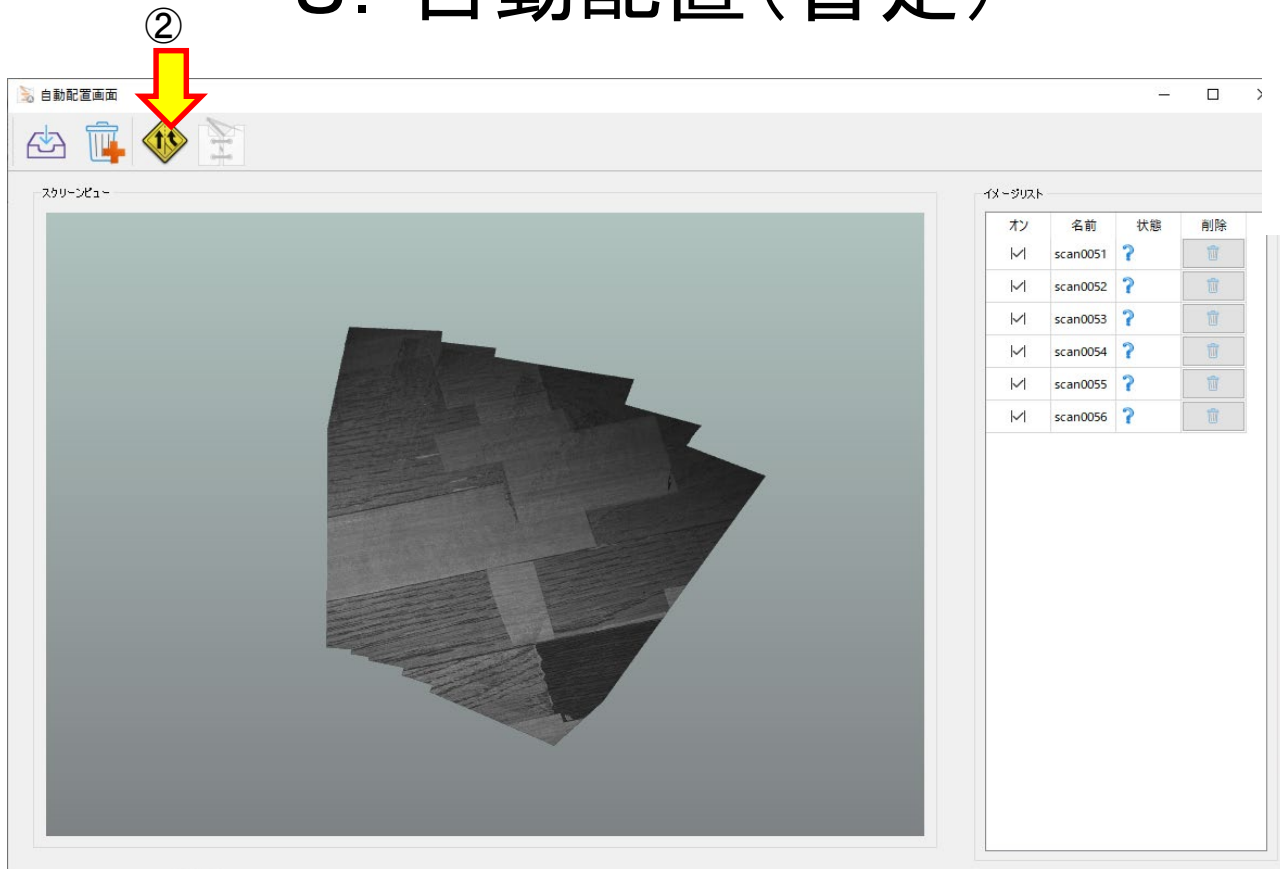
7. 自動配置作業画面



①をクリックし、前の画面のサンドボックスに読み込まれていたファイル群を、ここに読み出す。

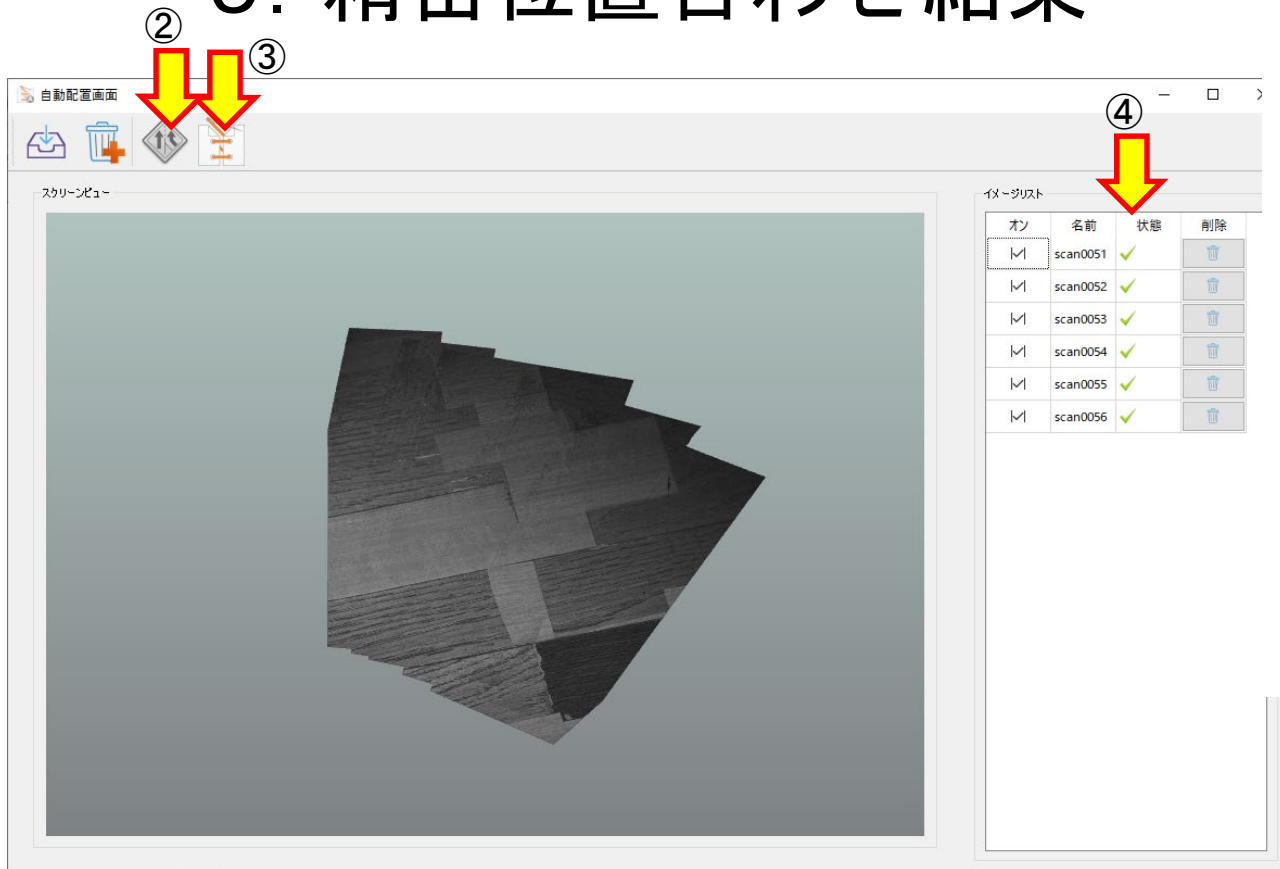
ファイルが持っている暫定世界座標情報を基に、画像が自動配置される。

8. 自動配置(暫定)



②をクリックし、各画像から検出される特徴情報を基に、精密な位置合わせを実行する

9. 精密位置合わせ結果



自動配置画面

スクリーンビュー

イメージリスト

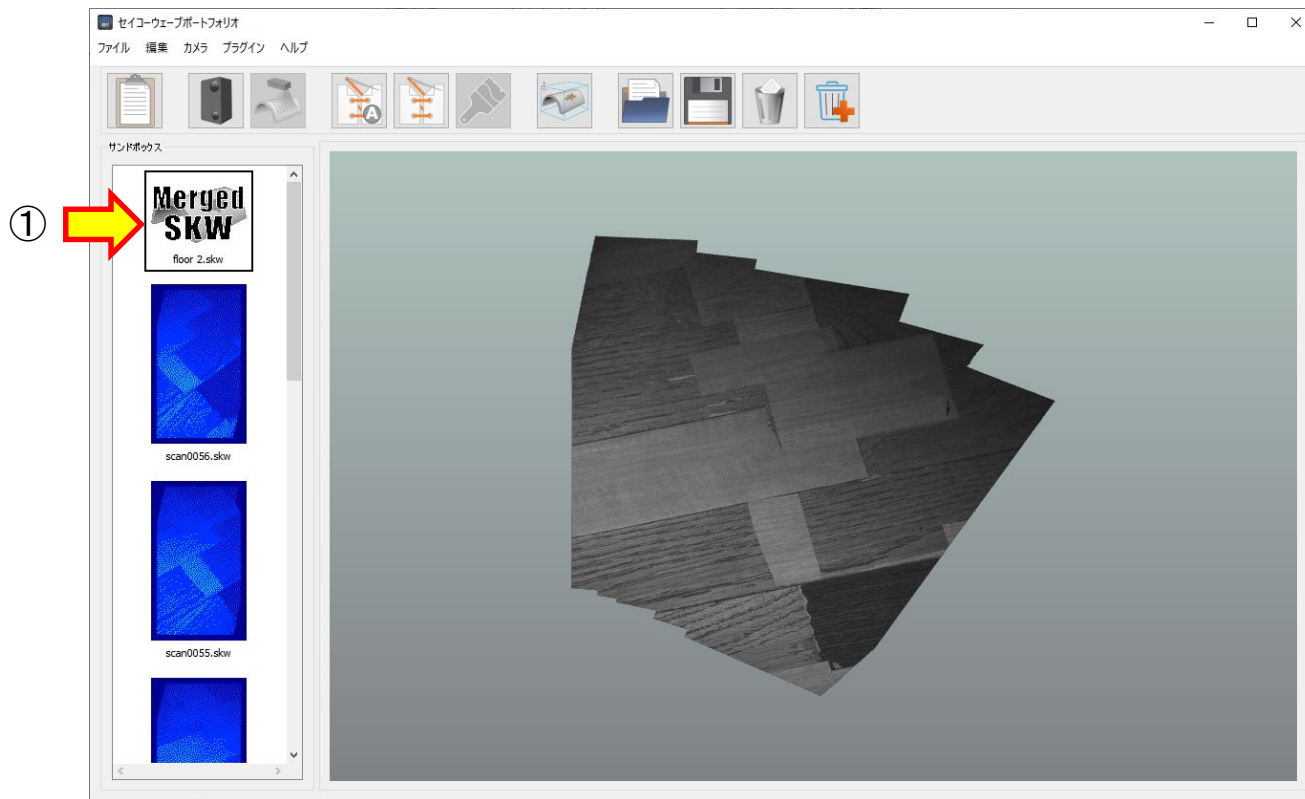
オン	名前	状態	削除
☒	scan0051	✓	
☐	scan0052	✓	
☐	scan0053	✓	
☐	scan0054	✓	
☐	scan0055	✓	
☐	scan0056	✓	

位置合わせ結果は、「状態」④にチェックマークで示される。

Xの場合は、位置合わせに失敗した画像なので、ごみ箱に捨てて、再度位置合わせアイコン②で位置合わせを実行する。

位置合わせ実行結果が良好である場合、③をクリックし、合成と保管を行う。この際、ファイル名入力を求められる。

10.合成と保存結果



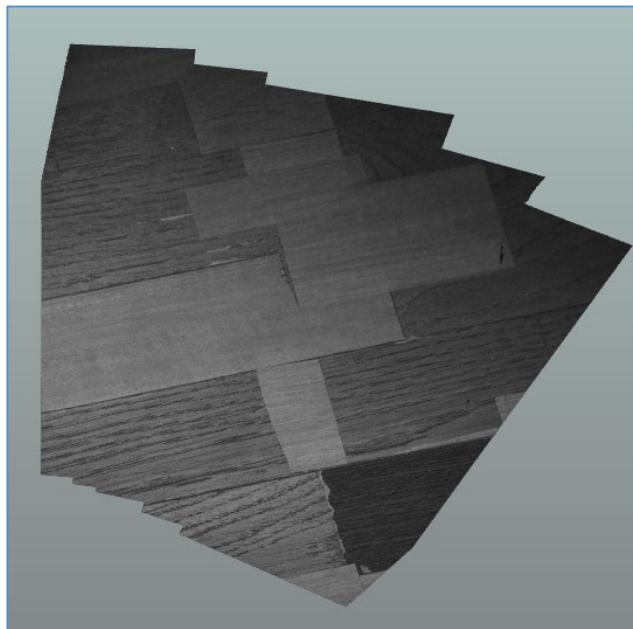
自動配置画面は、保存完了後自動的に閉じられ、合成結果が中央画面に表示される。

保存されたファイルは、①のようにサムネイル表示される。

11. 画像追加

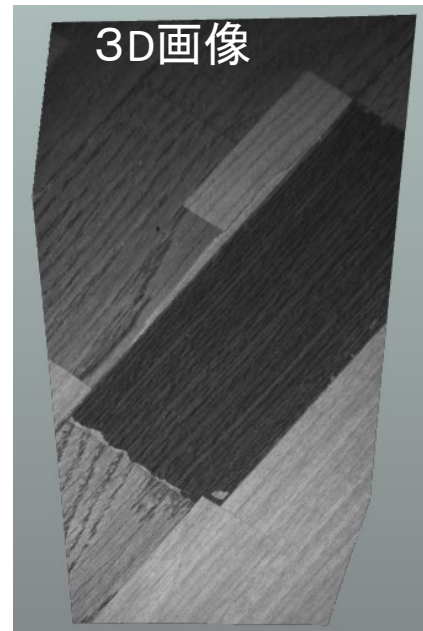
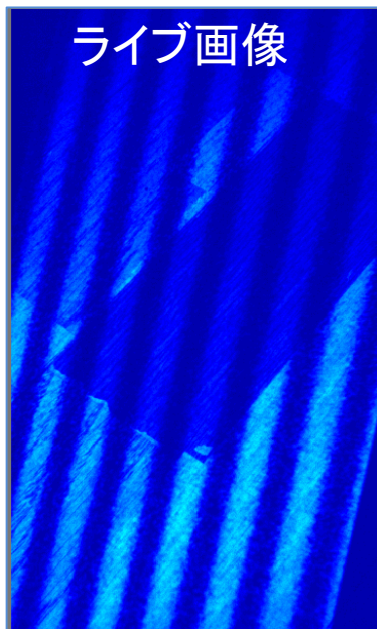
次に、自動合成した結果にワンショットデータを追加する手順を説明する。

自動合成結果(3D)



追加したい部位(ワンショットスキャン)

+



12.手動合成

①

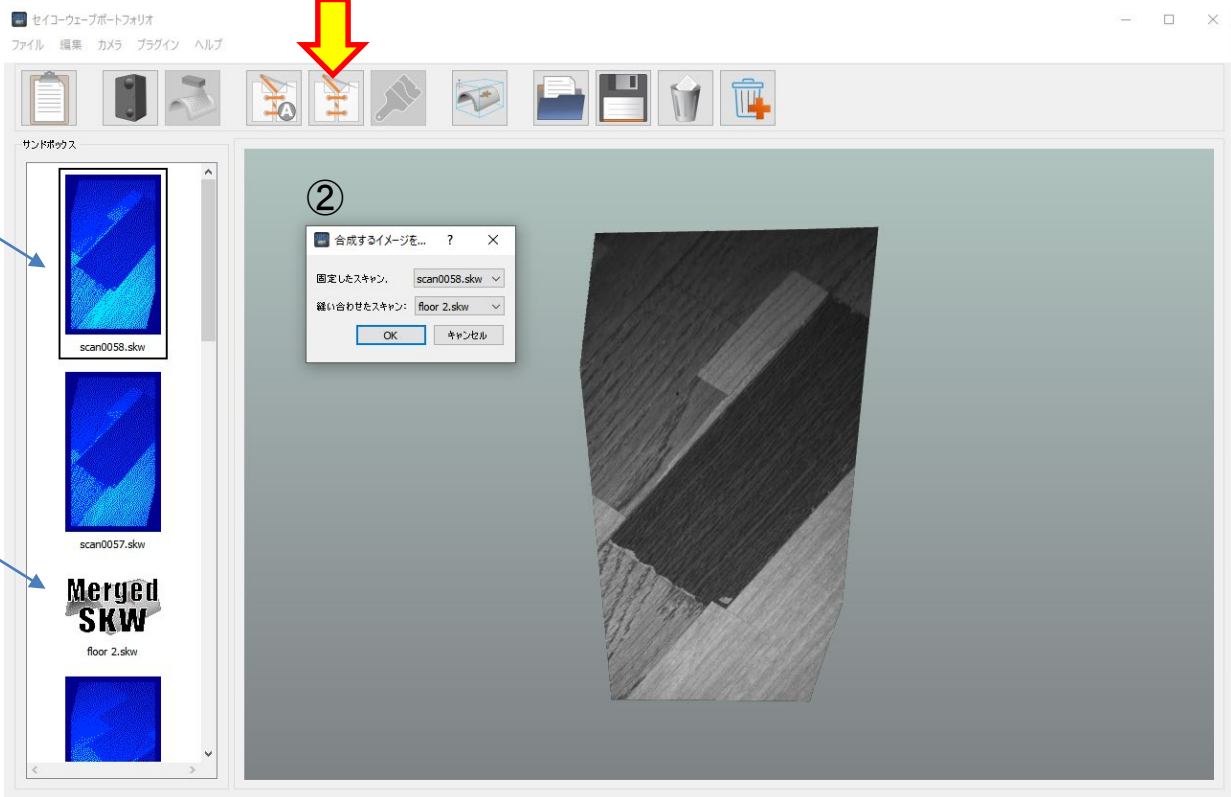
追加したいワンショットデータ

自動合成データ

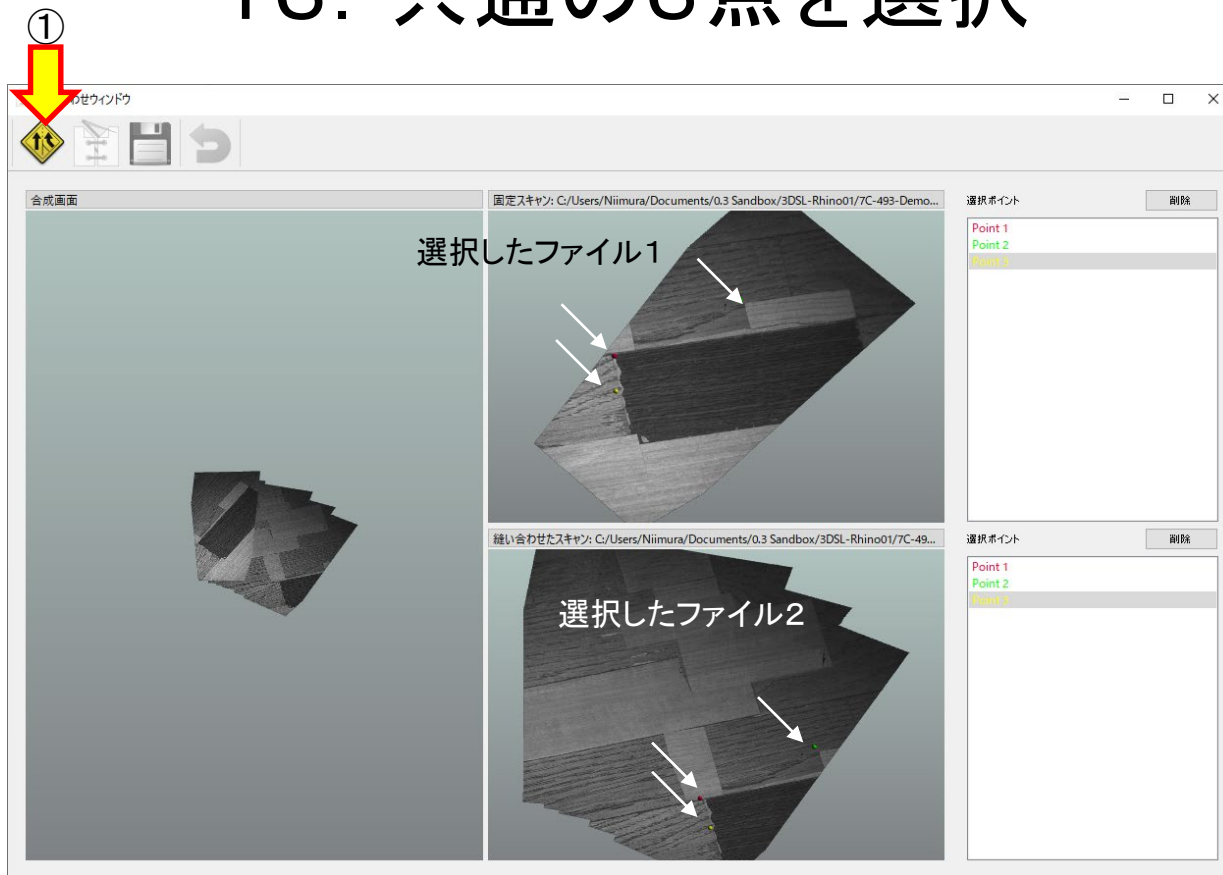
②

①をクリックする。

ファイルを2つ選択するポップアップ画面②が表示されるので、合成したいファイルを2つ選ぶ。



13. 共通の3点を選択



注;
この作業画面では、
各画像の上にマウス
を移動し、右ボタン
クリックで、テクスチャオ
フにして、凸凹特徴を
見やすくしてから作業
することもできる。

選択した2つのファイ
ルは、画面右側、上下
に表示される。

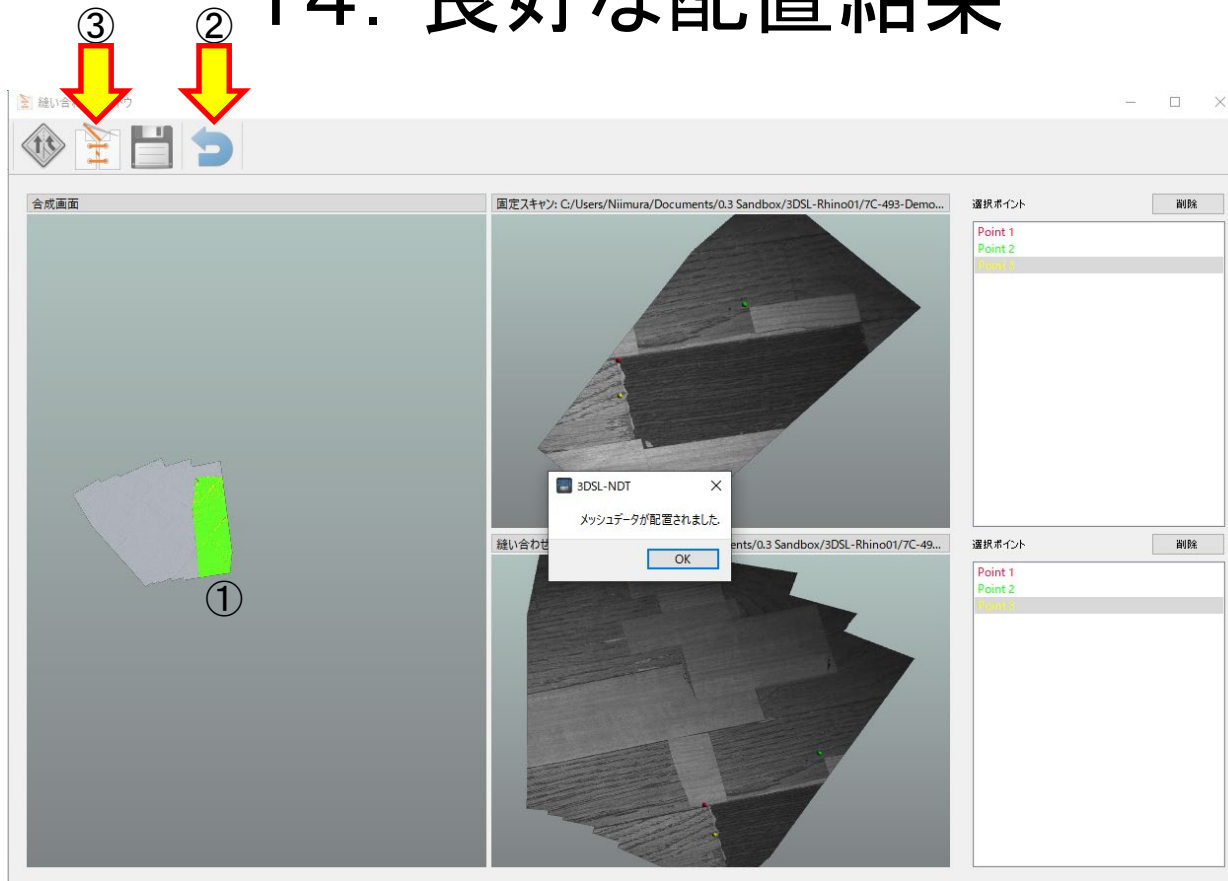
両方に共通した3点を選
ぶ。

選択の順番は問わな
いが、赤は赤、黄緑は
黄緑、黄色は黄色、等、
それぞれの色の点が、
共通点であること。

また、選択した点の数
も一致させること。

選択完了後、①をク
リックし、配置を実行。

14. 良好な配置結果



①の緑の領域は、配置のために参照した共通部分の重なり具合を示す。

緑は良好な結果を示す。

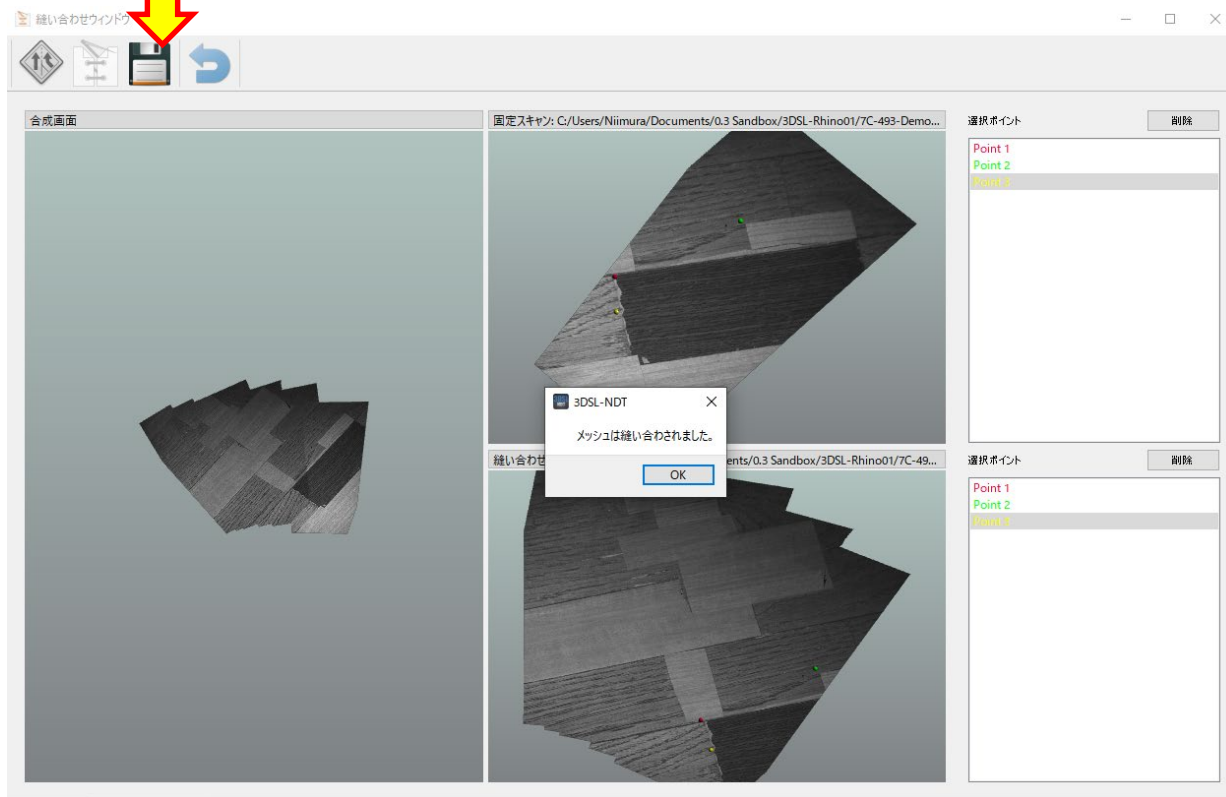
共通部分の誤差が大きい場合(0.5ミリ超過)は、黄色や赤で表示される。緑領域が9割以上であれば一般に良好な配置結果とみなせる。

やり直す場合は、②の矢印マークをクリックし、点の選択に戻る。

OKを押したあと、③をクリックし、データ合成へと進む。

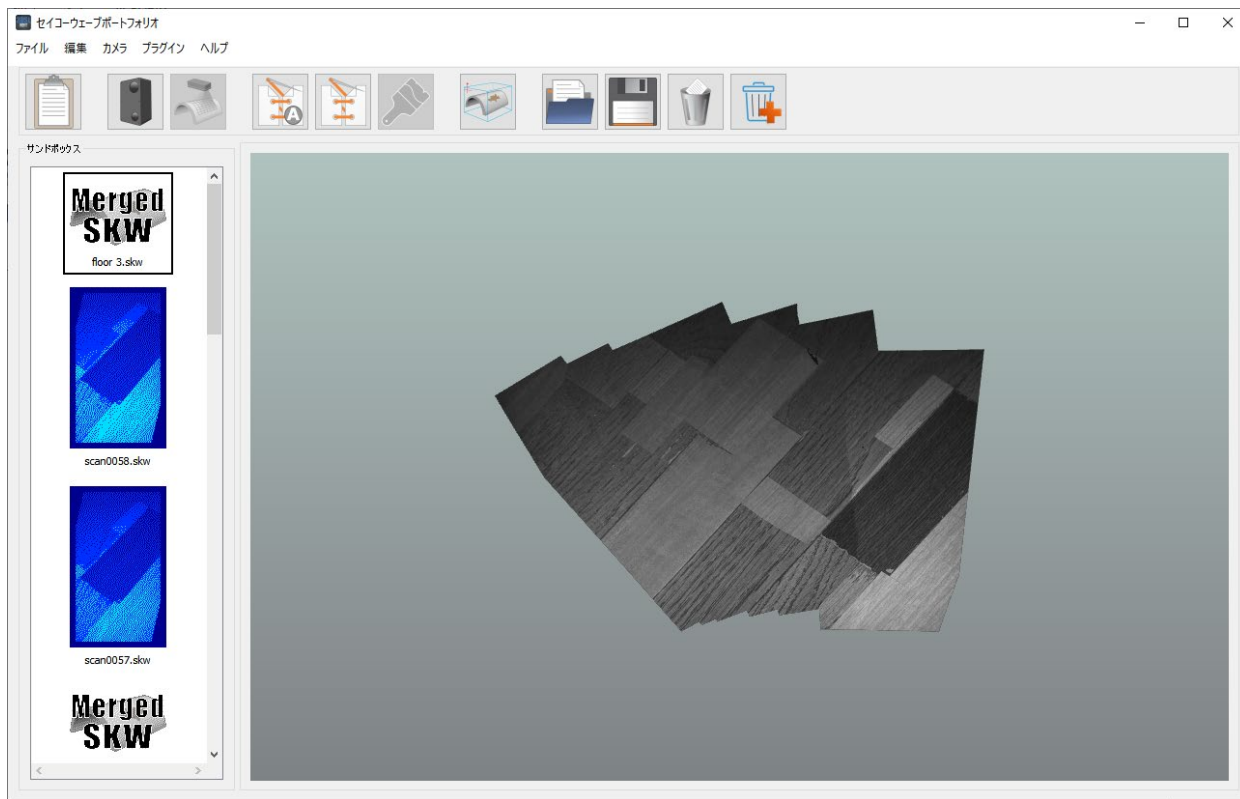
15. 合成(縫い合わせ)結果

④



メッシュ縫い合わせ完了後、④をクリックし、ファイル名を与えて保存する。

16. 合成結果



17. 合成結果(テクスチャオフ・拡大)

